

教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率
常磐大学
春semester

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
人間科学部 〔2004年度 改組カリキュラム〕	共通科目、卒業研究		専任担当科目数(A)	3.5	0	3.5
			兼任担当科目数(B)	1.5		1.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	70		70
	心理教育学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0.5	26.7	36.7
			兼任担当科目数(B)	0.5	3.3	11.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	50	89.0	76.5
	現代社会学科	専門教育	専任担当科目数(A)	2	8.7	18.7
			兼任担当科目数(B)	2	4.3	22.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	50	66.9	45.6
	コミュニケーション学科	専門教育	専任担当科目数(A)	4	6	25
			兼任担当科目数(B)		2	11
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	75	69.4
	教職科目		専任担当科目数(A)	4.5	0	14.5
			兼任担当科目数(B)	3.5	2	12.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	56.3	0	53.7

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
国際学部 〔2004年度 改組カリキュラム〕	共通科目、卒業研究		専任担当科目数(A)	6	13	31.8
			兼任担当科目数(B)	3	8	18.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7	61.9	63.5
	国際関係学科	専門教育	専任担当科目数(A)	2	2	26
			兼任担当科目数(B)			12
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	100	68.4
	英米語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	3	1	14
			兼任担当科目数(B)			2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	100	87.5
	教職科目		専任担当科目数(A)	0	0	4
			兼任担当科目数(B)			1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			80
国際学部 〔旧カリキュラム〕	共通科目		専任担当科目数(A)	0	0	1
			兼任担当科目数(B)		1	1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)		0	50
	国際協力量科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)			2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			0
	国際ビジネス学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	1
			兼任担当科目数(B)			
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			100

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
コミュニティ振興学部 〔2006年度改組カリキュラム〕	基礎科目、コミュニティ理解・活動、 情報、卒業研究	専任担当科目数(A)	7	0	15	
		兼任担当科目数(B)	3		5	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	70		75	
	コミュニティ文化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	2	0	11
			兼任担当科目数(B)			0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100		100
	地域政策学科	専門教育	専任担当科目数(A)	1	0	12
			兼任担当科目数(B)			2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100		85.7
	ヒューマンサービス学科	専門教育	専任担当科目数(A)	1	0	8.5
			兼任担当科目数(B)			7.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100		53.1
教職科目		専任担当科目数(A)	0	0	1	
		兼任担当科目数(B)				
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			100	
コミュニティ振興学部 〔旧カリキュラム〕	基礎科目、コミュニティ理解・活動、 情報、卒業研究	専任担当科目数(A)	6	10	22	
		兼任担当科目数(B)	2.5	4	7.5	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	70.6	71.4	74.6	
	コミュニティ文化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	3	0	18
			兼任担当科目数(B)			4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100		81.8
	ヒューマンサービス学科	専門教育	専任担当科目数(A)	1	0	14
			兼任担当科目数(B)			9
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100		60.9

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
総合講座	教養分野	専任担当科目数(A)	0	0	20.7	
		兼任担当科目数(B)			11.3	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			64.7	
	言語分野(英語以外)	専任担当科目数(A)	0	0	6.5	
		兼任担当科目数(B)			9.5	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			40	
	言語分野(英語)	人間科学部	専任担当科目数(A)	2.9	0	3.7
			兼任担当科目数(B)	1.1		1.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	72		73
		国際学部	専任担当科目数(A)	5.6	0	5.6
			兼任担当科目数(B)	1.4		1.4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	80		80
		コミュニティ振興学部	専任担当科目数(A)	2	0	2
			兼任担当科目数(B)	1		1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7		66.7
司書教諭課程科目		専任担当科目数(A)	3	0	3	
		兼任担当科目数(B)	1		1	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75		75	
司書課程関連科目		専任担当科目数(A)	2	0	3	
		兼任担当科目数(B)	6		6	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	25		33	

(表3)

秋semester

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
人間科学部 〔2004年度 改組カリキュラム〕	共通科目、卒業研究		専任担当科目数(A)	3.5	0	3.5
			兼任担当科目数(B)	1.5		1.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	70		70
	心理教育学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	18.2	31.2
			兼任担当科目数(B)	1	1.8	8.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0	91	78
	現代社会学科	専門教育	専任担当科目数(A)	1	6.2	22.2
			兼任担当科目数(B)	1	2.3	14.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	50	72.9	60
	コミュニケーション学科	専門教育	専任担当科目数(A)	2	11	28
			兼任担当科目数(B)			5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	100	84.8
	教職科目		専任担当科目数(A)	1.5	0	13.5
			兼任担当科目数(B)	2.5	4	10.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	37.5	0	56.3

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
国際学部 〔2004年度 改組カリキュラム〕	共通科目、卒業研究		専任担当科目数(A)	5	10	31
			兼任担当科目数(B)	2	5	13
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	71	66.7	70.6
	国際関係学科	専門教育	専任担当科目数(A)	1	3	27.5
			兼任担当科目数(B)	1		10.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	50	100	72.4
	英米語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	3	1	19
			兼任担当科目数(B)			4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	100	82.6
	教職科目		専任担当科目数(A)	0	0	2
			兼任担当科目数(B)			3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			40
国際学部 〔旧カリキュラム〕	共通科目		専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)			
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			
	国際協力量科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	1
			兼任担当科目数(B)			
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			100
	国際ビジネス学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	1
			兼任担当科目数(B)			
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			100

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
コミュニティ振興学部 〔2006年度改組カリキュラム〕	基礎科目、コミュニティ理解・活動、 情報、卒業研究	専任担当科目数(A)	7	0	12.5	
		兼任担当科目数(B)	3		11.5	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	70		52.1	
	コミュニティ文化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	1	0	7
			兼任担当科目数(B)			
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100		100
	地域政策学科	専門教育	専任担当科目数(A)	1	0	14
			兼任担当科目数(B)			
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100		100
	ヒューマンサービス学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	8
			兼任担当科目数(B)	1		4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0		66.7
教職科目		専任担当科目数(A)	0	0	1	
		兼任担当科目数(B)				
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			100	
コミュニティ振興学部 〔旧カリキュラム〕	基礎科目、コミュニティ理解・活動、 情報、卒業研究	専任担当科目数(A)	8	2	15.5	
		兼任担当科目数(B)	3.5	8	13	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	69.6	20	54.4	
	コミュニティ文化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	19
			兼任担当科目数(B)			3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			86.4
	ヒューマンサービス学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	11
			兼任担当科目数(B)	1		7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0		61.1

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目		
総合講座	教養分野		専任担当科目数 (A)	0	0	19.4	
			兼任担当科目数 (B)			8.6	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			69.3	
	言語分野 (英語以外)		専任担当科目数 (A)	0	0	12.5	
			兼任担当科目数 (B)			11.5	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)			52.1	
	言語分野 (英語)	人間科学部		専任担当科目数 (A)	2.9	0	3.9
				兼任担当科目数 (B)	1.1		1.1
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	73		78
		国際学部		専任担当科目数 (A)	6.6	0	6.6
				兼任担当科目数 (B)	1.4		1.4
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	83		83
		コミュニティ振興学部		専任担当科目数 (A)	1.5	0	1
				兼任担当科目数 (B)	0.5		0.5
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75		66.7
司書教諭課程科目			専任担当科目数 (A)	0	0	0	
			兼任担当科目数 (B)	1		1	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0		0	
司書課程関連科目			専任担当科目数 (A)	4	0	4	
			兼任担当科目数 (B)	3		3	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	57.1		57.1	

(表3)

- [注] 1 ここでの「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めること。
- 2 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付すこと。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入すること。
- 3 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表すること。
- 4 「全開設授業科目」は、「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではないので注意すること。「選択科目」、「自由科目」を記入する必要は無い。
- 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りである。
同一講師による場合 専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となる。
複数教員による場合 専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となる。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となる)。

- [備考] 1 担当科目における専兼比率(A/B)を算出するにあたり、専任担当科目数(A)が0の場合は「0」を、兼任担当科目数(B)が0の場合は「(ハイフン)」を該当欄に記入した。
- 2 教職関連科目の福祉科教育法、については、コミュニティ振興学部開設科目に含めた。
- 3 国際学部「旧カリキュラム」の必選区分は、2003年度カリキュラムを基にした。
- 4 コミュニティ振興学部「旧カリキュラム」の必選区分は、2005年度カリキュラムを基にした。
- 5 複数コマ展開の科目で、春セメスター・秋セメスターにそれぞれ開講している場合は、両方のセメスターにカウントした。

(表3)

常磐短期大学
春 Semester

学部・学科		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
現代教養講座		専任担当科目数 (A)	4	13	17
		兼任担当科目数 (B)		1	1
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	92.9	94.4
専門科目	キャリア教養学科	専任担当科目数 (A)	6		26.7
		兼任担当科目数 (B)	1		12.3
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	85.7		68.5
	幼児教育保育学科	専任担当科目数 (A)	11.5		26.5
		兼任担当科目数 (B)	3.5		13.5
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	76.7		66.3
	生活科学科生活科専攻	専任担当科目数 (A)	5	2	17
		兼任担当科目数 (B)	3	4	13
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	62.5	33.3	56.7
	生活科学科食物栄養専攻	専任担当科目数 (A)	14.5		21.4
		兼任担当科目数 (B)	8.5		11.6
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	63		64.8
司書に関する科目		専任担当科目数 (A)	6		7
		兼任担当科目数 (B)	2		2
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75		77.8
栄養教諭に関する科目		専任担当科目数 (A)	5		5
		兼任担当科目数 (B)	3		3
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	62.5		62.5

(表3)

秋semester

学部・学科		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
現代教養講座		専任担当科目数(A)	11	11	
		兼任担当科目数(B)	1	1	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	91.7	91.7	
専門科目	キャリア教養学科	専任担当科目数(A)	6	35.2	
		兼任担当科目数(B)		3.8	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	90.3	
	幼児教育保育学科	専任担当科目数(A)	10.2		27.3
		兼任担当科目数(B)	2.8		10.7
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	78.5		71.8
	生活科学科生活科専攻	専任担当科目数(A)	5	2	15
		兼任担当科目数(B)	2	4	12
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	71.4	33.3	55.6
	生活科学科食物栄養専攻	専任担当科目数(A)	9		15.9
		兼任担当科目数(B)	11		16.1
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	45		49.7
司書に関する科目		専任担当科目数(A)	5	5	
		兼任担当科目数(B)	1	1	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	83.3	83.3	
栄養教諭に関する科目		専任担当科目数(A)	2	2	
		兼任担当科目数(B)	1	1	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7	66.7	

(表3)

- [注] 1 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めること。
- 2 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付すこと。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入すること。
- 3 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表すること。
- 4 「全開設授業科目」は、「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではないので注意すること。「選択科目」、「自由科目」を記入する必要は無い。
- 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りである。
同一講師による場合 専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となる。
複数教員による場合 専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となる。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となる)。
- [備考] 1 担当科目における専兼比率(A/B)を算出するにあたり、専任担当科目数(A)が0の場合は「0」を、兼任担当科目数(B)が0の場合は「(ハイフン)」を該当欄に記入した。
- 2 複数コマ展開の科目で、春セメスター・秋セメスターにそれぞれ開講している場合は、両方のセメスターにカウントした。